

検定意見書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-4	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 1・2
-----------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	1 卷 47	5	(「で」に振られた数字) 「5」 「6」	不正確である。 (数字の示し方が不正確である。)	3-(1)
2	3 卷 142		(左下の書名) へいわってどんなこと	不正確である。 (書名が不正確である。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-32	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 1・2
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	3巻 155	2段	(とくべつな読み方の言葉) 23 大人	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)
2	4巻 163	下 11	あらすじをまとめる 134ページ	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-39		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 87	下5- 7	(えにつきをかこう) ペンギンは、とりみたいにはたばたし ておよいでいました。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (ペンギンが鳥ではないかのように誤解する。)	3-(3)	
2	2 巻 5	脚注	先生・保護者の方へ…※巻末に接続方 法の説明があります。(3巻7ページ、 4巻5ページも同)	相互に矛盾している。 (巻末に接続方法が示されていない。)	3-(1)	
3	10	下	(くらしをまもる車、がくしゅうのて びき) 表「くらしをまもる車／はたらき」	児童にとって理解し難い表である。 (問いの文に対する答えの文をまとめる表として理 解し難い。)	3-(3)	
4	11	上	(このほんよみたいな) 『くらべてなるほど！こうじのくるま 』の図版にある「交通新聞社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	77	上12	(まとめて よぶ ことば) まとめる	誤記である。	3-(2)	
6	125 - 126		(かたかなをたしかめよう) 表(三種)	児童にとって理解し難い表である。 (凡例に照らして初出ページの表示が理解し難い。)	3-(3)	
7	3 巻 39	上5- 6	(ほたるの一生、学しゅうのてびき) ホテルの 一生は、どんな 一生で したか。	本文に照らして表記が不統一である。	3-(4)	
8	50 - 51		(ことばを聞きとろう) たからさがしに ちょうせん (全体)	児童にとって理解し難い学習活動である。 (学習活動の手順が理解し難い。)	3-(3)	
9	57	上	(この本読みたいな) 『クラゲゆらゆら』の図版にある「ポ プラ社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	103	上	(この本読みたいな) 『むしをたべるくさ』の図版にある「 ポプラ社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-39		学校 小学校		教科 国語		種目 国語		学年 1・2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	4巻 11	上	(この本読みたいな) 『スーパー紙とんぼワンダーランド』 の図版にある「いかだ社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
12	15	5	(作ってあそぼう) じゅんじよく	誤記である。	3-(2)				
13	32	1 - 5	(組み立てを考えよう) 多くの文しょうには、いくつかのまと まりがあります。その組み立ては、たい いやきにています。つぎの①から④ の文しょうは、それぞれのまとまりが	児童にとって理解し難い表現である。 (「それぞれのまとまりが、ばらばらになっていま す。」)	3-(3)				
			、ばらばらになっています。組み立て を考えながら、「たいやき」のどこに 当てはまるか、考えてみましょう。						
14	72	1段	(読書のへや) 『しんせつなともだち』 …食べものをさがし行ったこうさぎは	誤記である。	3-(2)				
15	98	囲み	(お話を作ろう) りんごのみがなる木の下に、うさぎの 家ぞくがすんでいました。	児童にとって理解し難い表現である。 (絵に照らして理解し難い。)	3-(3)				
16	112	上11 -12	(お手紙、学しゅうのてびき) ①「かえるくんは、大いそぎで家へ帰 りました。」(30ページ下ア、イ、ウ も同)	不正確である。 (引用の仕方が不正確である。)	3-(1)				
17	112	上12	(同) 「かえるくんは、大いそぎで家へ帰 りました。」(104ページ)	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-43	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 1・2
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	2巻 27	上	『うめぼしさん』の図版にある「こぐま社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
2	100	脚注	こたえ→166ページ	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)
3	3巻 77	下1-3	ものの音は かたかなで 書きますが、ようすを あらわすことばは、ひらがなで 書きます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (擬声語・擬態語の表記について誤解する。)	3-(3)
4	93	下8-9	・なぜ、二つの 文しょうのようなちがいが あるのでしょうか。	児童にとって理解し難い設問である。 (設問の意図が理解し難い。)	3-(3)
5	4巻 33	2-8	●みさきさんが、おばあさんに 手紙を書きました。かたかなで書く ことばを見つけて、かたかなに なおしましょう。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (擬声語・擬態語の表記について誤解する。)	3-(3)
			わたしの 家では、犬を かいはじめました。ときどき わんわんとほえるけれど、しっぽが ふわふわと している かわいい 犬です。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-58		学校 小学校		教科 国語		種目 国語		学年 3・4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	1巻 123	2 - 3 下	漢字の右がわにあつて、おおまかな意味を表す部分を、「つくり」といいます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (つくりの性格について誤解する。)	3-(3)				
2	4巻 35		ちはやぶる神代も聞かず竜田川から紅に水くるとは	誤記である。	3-(2)				
3	146		『窓ぎわのトットちゃん』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-85	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 3・4
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	1巻 29	上段 囲み	2 (3) の表	児童が誤解するおそれのある表現である。 (場面の展開について誤解する。)	3-(3)
2	31	囲み	(「ここが大事」の表題) ばめん	4ページ、159ページに照らして表記が不統一である。	3-(4)
3	47	上 13-14	※友達がどのような言葉をえらび、文を作ったのかを考えましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (指示する活動内容が理解し難い。)	3-(3)
4	69	下	目次のページの図版にある「小学館の図鑑NEO」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
5	70	上	『トンボをさがそう、観察しよう』の図版にある「PHP」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
6	136	15	次の言葉をひらがなで入力してみましょう。 (17行「次の言葉をひらがなで入力して、へんかんしましょう。」も同)	児童にとって理解し難い設問である。 (137ページ「コンピューターのローマ字入力にちょうせんしてみよう。」という指示に照らして理解し難い。)	3-(3)
7	137	11	また、「ちえ」の「ち」は、T IやC H Iとも打てます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (他にもローマ字の書き表し方があるかのように誤解する。)	3-(3)
8	2巻 30	下8- 9	「読」や「話」には、左側に「言」という形があります。	児童にとって理解し難い説明である。 (2字だけ取り上げている理由が理解し難い。)	3-(3)
9	53	囲み	(「ここが大事」の引用) 「しもが足にかみついた。足からは血が出た。……。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (引用の仕方について誤解する。)	3-(3)
10	3巻 54	下	部首以外の漢字の成り立ちや意味	児童にとって理解し難い表現である。 (「部首以外の漢字の成り立ちや意味」は理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-85	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 3・4
-------------------	---------------	--------------	--------------	---------------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	57	下2-3	漢字の筆順がわからないときも、漢字辞典には筆順がのっていることもあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)
12	70	下7-8	次の漢字の部首を□で、音を表す部分を□でかこみ、話し合しましょう。	児童にとって理解し難い設問である。 (何を話し合うのか理解し難い。)	3-(3)
13	134	3段	『宇宙人のしゅくだい』の図版にある「AOI TORI BUNKO」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
14	4巻 164	上段左 囲み	(「訓読みしかない漢字」の説明)日本語の読み方の訓読みが主に使われる漢字もあります。	児童にとって理解し難い説明である。 (表題に照らして説明が理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-94		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1巻 8	5	(三年生でつきたい力) 中心にそって聞く(2巻119ページ5行目、3巻8ページ5行目、4巻127ページ5行目も同)	児童にとって理解し難い表現である。 (「中心にそって」。)	3-(3)	
2	13	脚注	先生・保護者の方へ…※巻末に接続方法の説明があります。(2巻5ページ、3巻13ページ、4巻5ページも同)	相互に矛盾している。 (巻末に接続方法が示されていない。)	3-(1)	
3	34	上、吹き出し	(国語じてんの使い方) 「冷やす」には「①冷たくする」、「②気持ちをおち着かせる」の二つの使いみがあったよ。	児童にとって理解し難い表現である。 (32ページの国語辞典の記述に照らして理解し難い。)	3-(3)	
4	48	囲み6-7	(食べ物のみみつをさぐるう) むした大豆に、なっとうきをまぜると、なっとうは変身をはじめます。	児童にとって理解し難い表現である。 (「なっとうは変身をはじめます」。)	3-(3)	
5	50 - 51	9 - 2	(「百科事典」を引いて調べよう) ②小口にある「つめ」を見る 「つめ」は、言葉のさいしょの文字ごとに色分けされています。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (すべての百科事典において文字ごとに色分けされているかのように誤解する。)	3-(3)	
6	50	上	(同) 『ポプラディア』の図版にある「ポプラ社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	59	上1-3	(音読み・訓読み・送りがな) 2同じ訓読みの使い分け 同じ訓読みでもいみのちがうものがあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (「同じ訓読みの使い分け」とはどういうことか理解し難い。)	3-(3)	
8	60	下6-8	(同) 読み方がたくさんある漢字では、送りがなによって、いみだけでなく読み方もちがってきます。	児童にとって理解し難い表現である。 (「いみだけでなく読み方もちがってきます。」)	3-(3)	
9	70	1-3	(合図としるし) 音は、はなれたところにいる人や、目に見えないことをつたえるというよさがあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
10	74	下1-15	(合図としるし、学習のてびき) ②だん落の関係をつかもう ①つぎの図をまとめましょう。 ②アとイに入る言葉を、文章の中から見つけましょう。	児童にとって理解し難い活動である。 (図の意味するところ、設問の意図が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-94		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	75	上1-4	(同) ③この文章では、たくさんの事例が出てきます。題名にある「合図」と「しるし」の事例は、どこで分かりますか。見つけましょう。	児童にとって理解し難い設問である。 (活動の目標「②だん落の関係をつかもう」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
12	82	上1-3	(しゅうしょく語) ②つぎの文の、一線のしゅうしょく語に当てはまる言葉を、□からえらびましょう。	児童にとって理解し難い設問である。 (「当てはまる言葉」。)	3-(3)	
13	83	上1	(同) ③にているしゅうしょく語	誤記である。	3-(2)	
14	95	下	(この本読みたいな) 『王さまばんざい』の図版にある「フォア文庫」(141ページ24『ぼくは王さま』の図版も同)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	138	上4-5	(学校図書館で本をさがそう) 本には、その本を整理するためのじょうほうのがのっています。	児童にとって理解し難い表現である。 (「整理するためのじょうほう」。)	3-(3)	
16	2巻 5	右、囲み	(『みんなと学ぶ 小学校 国語』の使い方) 下の縮刷図中の「書く」	相互に矛盾している。 (22ページと矛盾する。)	3-(1)	
17	35	下、囲み	(ほかのものになりきって) きせつにごとに	誤記である。	3-(2)	
18	52	上2-5	(モチモチの木、学習のてびき①) 次のアからオの場面では、どんな出来事がありましたか。それぞれの絵について、「……豆太」という題名をつけましょう。	相互に矛盾している。 (絵に照らして矛盾している。)	3-(1)	
19	65	3段1 7	(読書の部屋) 『写真でわかる慣用語辞典』にある「学研辞典編集部」 (図版にある「Gakken」も同)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
20	91	上、図	(冬眠する動物たち、学習のてびき③) 事例	「例」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (「例」は、第4学年配当漢字。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-94		学校 小学校		教科 国語		種目 国語		学年 3・4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	109	最終行	(わにのおじいさんのたから物、学習のてびき) ・物語から人物の行動やせいかくを表す言葉に着目することができましたか。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
22	125	下6	(国語のカギ、⑨つながりを考えて書く) まとまりをつなげて文章するとき	脱字である。	3-(2)				
23	3巻 43	脚注	(筆者説明) 日高敏隆…日本動物学会を設立し、初代の会長となった。	誤りである。 (「日本動物学会」。)	3-(1)				
24	55	左下5 -9	(ごみゼロ新聞) そんなたくさんのごみを、クリーンセンターではたらく人は二十四時間、交代で、ごみの処理をしています。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
25	66	6 - 7	(手で食べる、はしで食べる) では、はしやスプーンを使わないのは、それらにどのようなちがいがあからでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 (「それら」が何をさすのか理解し難い。)	3-(3)				
26	104	2段右	(読書の部屋) 『チョコレート工場の秘密』 まずしいチャーリーが、ウオンカへのチョコレート工場への招待状を手に入れました。	誤記である。 (「ウオンカへの」。)	3-(2)				
27	115	上6- 10	(漢字のいろいろな読み方・送りがない) 改めない。改めます。改める。改めれば、改めよう。	児童にとって理解し難い表現である。 (傍線の位置が理解し難い。)	3-(3)				
28	138	4段	(読書の部屋) ③『あつおのぼうけん』 吉村敦子(よしむらけい)作	誤記である。 (「敦」。)	3-(2)				
29	138 - 139	1-3 段	(同) ⑦『ゲーテンベルクのふしぎな機械』 ⑫『1つぶのおこめ』⑩『いしをつんだおとこ』⑮『のろのろひつじとせかせかひつじ』24『学校にある道具使い	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
			方事典』25『おいしい根っこ』の図版にある「あすなる書房」「光村教育図書」「ハッピーオウル社」「理論社」「PHP」「大月書店」						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-94		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	139	4段	(読書の部屋) 27『よりぬきマザーグーズ』	誤記である。	3-(2)	
31	4巻 23	絵	(ことわざ・故事成語、やってみよう) 三つ目の絵	児童が誤解するおそれのある絵である。 (「朝三暮四」の成り立ちについて誤解する。)	3-(3)	
32	24	囲み	(「落ち葉」ではなく「落ちえだ」) 筆者の考えの進め方をたしかめながら、 つぶやくように読みましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (「つぶやくように読みましょう」。)	3-(3)	
33	36	上、吹き出し	(熟語の組み合わせと読み方) 三字の熟語の組み合わせは、「上中下」 「図書館」などいろいろあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (「三字の熟語の組み合わせ」。)	3-(3)	
34	67	3段左	(読書の部屋) 『ことわざ絵本』の図版にある「岩崎書店」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
35	86	上	(この本読みたいな) 『ユニバーサルデザイン』の図版にある「学研」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
36	96	2	(これであなたも作家になれる) 左の四こままんがをならべかえると、 どんな順序になりますか。	児童にとって理解し難い指示である。 (どのような活動を求めているのか理解し難い。)	3-(3)	
37	119	下	(この本読みたいな) 『びりっかすの神さま』の図版にある「偕成社文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-112		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 79	下4	はんたいの意味を表す漢字 晴（晴天）－（雨天）	児童にとって理解し難い表現である。 （「晴」の反対の意味を表す漢字が示されていない。）	3-(3)	
2	2 巻 36	下1- 3	「馬」のほかに、「海」「店」「星」「炭」など、音では意味が分かりにくくても、訓だとすぐに分かる漢字もあります。	児童が誤解するおそれのある表現である。 （「馬」が、訓ではすぐに意味の分からない漢字であるかのように誤解する。）	3-(3)	
3	71	下	『ドングリ山のやまばあさん』の図版にある「理論社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	110	2	「大切や役わりを持つ物」	誤記である。	3-(2)	
5	3 巻 35	上5- 6	○「と」の読み方の漢字の中から、「努」が出ているページをさがす。	児童が誤解するおそれのある表現である。 （「努」が、「と」と読む漢字であるかのように誤解する。）	3-(3)	
6	45	下5	話題を変えるときに使う言葉 「ところが」	児童にとって理解し難い例である。 （「話題を変えるときに使う言葉」の例として理解し難い。）	3-(3)	
7	103	下	『北極のムーシカミーシカ』の図版にある「理論社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	105	中	『クワガタクワジ物語』の図版にある「偕成社文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
9	140	上9- 12	このように、文の中の修飾語と修飾される言葉の関係や、言葉の位置を正しくしめさないと、ちがう意味に受け取られるおそれがあります。	児童にとって理解し難い表現である。 （前段落の記述に照らして理解し難い。）	3-(3)	
10	160	下段囲み	■ 故事成語の例 「間髪を容れず」の「客」	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-112	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 3・4
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	4巻 67	脚注	ポップ 本の内容のしょうかいや、書き手が考える本のみりよく、キャッチコピーなどが書かれたカード。	児童にとって理解し難い表現である。 (「書き手」が誰を指すのか理解し難い。)	3-(3)
12	124	上7- 8	・ヤモはなぜ、子羊に「バハール（春）」という名前をつけたのでしょうか。	児童にとって理解し難い設問である。 (本文の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-125		学校 小学校		教科 国語		種目 国語		学年 5・6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 57	7 上	「言葉の意味」では、事例の「結果」だけでなく、その「原因」を説明することによって、筆者の考えとの結び付きを分かりやすくしていました。	児童にとって理解し難い表現である。 (「言葉の意味」が何を指すのか理解し難い。)	3-(3)				
2	84		『さすらい猫 ノアの伝説』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
3	171		『マザー・テレサ』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
4	204	4 - 6	(イラストのふきだし)「わあ、独特だね。」及び、本文4～6行目「「独特」は、それだけでは、よい意味なのか、よくない意味なのかが分かりません。「個性的な作品で、すてきだね。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「独特」「個性的」の意味について誤解する。)	3-(3)				
			と言っていたら、相手はほめられたと受け取ったのではないのでしょうか。」						
5	下巻 59	7 - 9 上	(書き言葉)…語順や構成を整えることがふつうです。たいていは書き直せないのもので、誤解をあたえないよう、…	児童にとって理解し難い表現である。 (「たいていは書き直せない」。)	3-(3)				
6	127		『二十四の瞳』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-149	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	1巻 28	下5- 7	亮太のしんじょうは、「タタン、タタン、タタン。」という音からわかるね。	児童にとって理解し難い説明である。 (教材本文の叙述に照らして理解し難い。)	3-(3)
2	53	下8- 9	言葉によって事実が変わるなんて、考えたことがなかったな。	児童にとって理解し難い表現である。 (教材本文の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)
3	57	下囲み	(書き言葉の特徴) その場にはいない人や時間がたってもわかるように書く必要がある。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)
4	2巻 77	8 - 11	ぼくが提案したい「読み終わった本は、必ずもとの場所へもどす。」ということは、本来ならあたりまえのことです。しかし、あたりまえに思えることを積み重ねていくことで、ぼくたちの	児童にとって理解し難い表現である。 (「しかし」の構成する文脈が理解し難い。)	3-(3)
			学校は、今よりも過ごしやすいところになると思います。		
5	108	下1- 3	動詞や様子を表す言葉など、使い方によって形が変わる言葉では、ふつう、形が変わる部分から送りがなをつけます。 (109ページ上8-9行「名詞のように形	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「動詞」「名詞」の指す意味について、児童が理解出来ないおそれがある。)	2-(1)
			の変わらない言葉では、ふつう、送りがなを付けません。」、上11-12行「ただし、次のような名詞にはつけるよ。」、下1行「動詞や様子を表す言葉からできた言葉」、下4行「次のよう		
			な名詞は、習慣にしたがって、送りがなをつけません。」、3巻102ページ表「めいしで終わる表現(体言止め)」、105ページ囲み「めいしで終わる表現(体言止め)」も同)		
6	3巻 52 - 53	14 - 4	断熱材でおおった野菜の貯蔵庫に雪を入れて、そこでながいものを保存し、鮮度を調べました。その結果、「氷室」の機能を利用した貯蔵庫では、冷蔵庫の十倍もの期間、鮮度を保つことがわ	児童にとって理解し難い表現である。 (本文と図2の照応関係が理解し難い。)	3-(3)
			かりました。貯蔵庫内の安定した、低い室温と高い湿度が野菜の鮮度を保つからです(図2)。 及び図2		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-149	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
7	147	3段1	13 磁	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)
8	4巻 103	下10 -12	このように漢字は、多くの言葉を日本語として作り直したり、新しくつくったりすることに用いられることも多くあるのです。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が示す内容が理解し難い。)	3-(3)
9	117	上	1939年9月のヨーロッパの地図	境界線の示し方が不正確である。 (フランスに引かれてある破線。)	3-(1)
10	146	下7	搾 (サク・しば-る)	児童が誤解するおそれのある例示である。 (国字と確定している例であるかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-155		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 13	脚注	先生・保護者の方へ…※巻末に接続方法の説明があります。(2巻5ページ、3巻13ページ、4巻5ページも同)	相互に矛盾している。 (巻末に接続方法が示されていない。)	3-(1)	
2	40	上14 -16	(和語・漢語・外来語) 和語は、数が多くありません。そこで、日本語は、外国から伝わった言葉を取り入れて使うようになりました。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (和語、漢語、外来語の関係について誤解する。)	3-(3)	
3	40 - 41	下6- 上10	(同) ②漢語と和語(全体)	児童にとって理解し難い表現である。 (漢語の説明として理解し難い。)	3-(3)	
4	42	上6- 9	(同) 漢語は、政治や科学に関する言葉に多く用いられています。それは、そぼくな和語では言い表せないむずかしい漢語が、日本に伝えられ、使われるよう	児童が誤解するおそれのある表現である。 (和語と漢語の特質について誤解する。)	3-(3)	
			になったからです。			
5	56	下、図 、最終 行	(東京スカイツリーのひみつ、学習のでびき) ふり返り	児童にとって理解し難い表現である。 (「ふり返り」とは何をさすか、理解し難い。)	3-(3)	
6	72	下3	(敬語) 敬意の気持ちを表すための言葉づかいです。	児童にとって理解し難い表現である。 (意味が重複しており、理解し難い。)	3-(3)	
7	98	2段中 央	(読書の部屋) 『鳥よめ』 周平さんにたすけられたかもめとだと言います。	誤記である。 (「とだと」。)	3-(2)	
8	132	下5- 6	(授業で使う言葉) 語り手は、物語の全体を組み立てたり、人物の思いや考えを語ったり、読者によびかけたりするなどの働きがあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
9	153	下、写 真キャ プショ	(和紙の心) パルプ、チップ	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-155		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	2巻 17	5 - 7	(季節のたより、秋) 野分 野の草をふき分けるほどの、秋の暴雨のこと。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (野分について誤解する。)	3-(3)	
11	25	脚注	(意見文を書こう) 「推論」、「予想される反論と、それに対する意見」	児童にとって理解し難い表現である。 (上の例文の内容と照応せず、理解し難い。)	3-(3)	
12	37	脚注②	(勇気の花がひらくとき、マラリアの説明) 温帯地域で発症する感染症。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (マラリアについて誤解する。)	3-(3)	
13	42	下	『あんぱんまん』の図版にある「キンダーおはなしえほん傑作選」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	47	上	(この本読みたいな) 『やなせたかし』の図版にある「ちくま評伝シリーズ」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	57	1-2 段	(読書の部屋) 『川は生きている』『幸せとまずしさの教室』の図版にある「AOI TORI BUNKO」「ちしきのもり」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
16	88	下、吹き出し	(漢字の音読みと訓読み) 訓読みは送りがなによって読み方がちがいます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (送り仮名のはたらきについて誤解する。)	3-(3)	
17	107	下	(この本読みたいな) 『シートン動物記1』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	3巻 31	下1- 2	(前後のつながりを示す言葉) ・群馬県は絹の生産地として有名です。一方、こんにやくでも有名です。(比べる)	児童にとって理解し難い表現である。 (「比べる」の用例として理解し難い。)	3-(3)	
19	33	上14 -16	(同) このように、前後のつながりを示す言葉によって、文をつないで一文にすることもできます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「接続語」と「前後のつながりを示す言葉」の関係について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-155		学校 小学校		教科 国語		種目 国語		学年 5・6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	34	下2-4	(季節のたより、春) 日本は、一年を二十四に分けていました。このことを二十四節気といいます。	児童にとって理解し難い表現である。 (二十四節気の説明として理解し難い。)	3-(3)				
21	42 - 43	6 - 1	(A I で言葉と向き合う) A I とは、人の知能の働きを人工的に実現しようとしたもののことをいいます。それは、ある情報を、あらかじめコンピュータにデータとして入力し、	児童にとって理解し難い表現である。 (「認識したり」の目的語が理解し難い。)	3-(3)				
			そこから類似する事例をもとに認識したり、論理的に判断したりするためのプログラムとして作られています。						
22	58	下	(パネルディスカッションをしよう) 書く (13ページ、右、囲み、下の縮刷図中の「書く」も同。)	児童にとって理解し難い表現である。 (目次、内容に照らして理解し難い。)	3-(3)				
23	68	3 - 4	(経験や知識をもとに導き出そう) このように、すでに知っている知識や経験から新しい答えや方法などを導き出すことを「類推」といいます。	児童にとって理解し難い表現である。 (類推の説明として理解し難い。)	3-(3)				
24	69	5 - 7	(同) 類推するときは、事柄どうしの関係をよく見ていきます。そして、その考えを導き出すための、「根拠や理由」をはっきりさせることが大切です。	児童にとって理解し難い表現である。 (「その考え」とは何か、理解し難い。)	3-(3)				
25	69	上、吹き出し	(同) 表面上はちがっているものでも、二つの事柄の間の類似点を見いだすことで、理解することができます。	児童にとって理解し難い表現である。 (「二つの事柄」がさすもの、「理解する」の目的語が理解し難い。)	3-(3)				
26	70	5 - 6	(同) そして、左にある①②③の文のそれぞれの様子について、想像したことを自分の経験や知識をもとに類推し、友達と話し合みましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (「想像」と「類推」の関係が理解し難い。)	3-(3)				
27	70 - 71	7 - 17	(同) このとき、次のように話す、考えやすくなります。(以下全体)	児童にとって理解し難い活動である。 (68ページの「類推」の定義に照らして理解し難い。)	3-(3)				
28	4巻 4 目次	13	……	児童にとって理解し難い表現である。 (何が書かれているかわからず、理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 30-155	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
29	4 目次		資料編（全体）	児童にとって理解し難い目次である。 （「ローマ字の表」が示されておらず、理解し難い。）	3-(3)
30	67		（読書の部屋） 『パソコンがなくてもわかるはじめてのプログラミング①』『寿命図鑑—生き物から宇宙まで万物の寿命をあつめた図鑑』『方言と地図—あったかい47	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
			都道府県の言葉』の図版にある「角川アスキー総研」「いろは出版」「画工舎」		
31	67	3段3	（同） 『葉の裏で冬を生きぬくチョウウラギンシジミ10年の観察』村山淳子絵	誤記である。 （「淳」。）	3-(2)
32	90	脚注	（構成表をもとに、提案原稿を書こう） 資料②から分かったことを、予想と比べながら書いています。	児童にとって理解し難い表現である。 （例文の内容に照らして理解し難い。）	3-(3)
33	118	下10-12	（授業で使う言葉、序論・本論・結論） 本論…筆者の考えにもとづいて、話題についての説明の内容、事例（事実や経験）などを挙げながら、結論に向かって述べたもの。	児童にとって理解し難い表現である。 （「話題についての説明の内容」とは何か、理解し難い。）	3-(3)
34	121	下1	（国語のカギ、⑤考えや感じたことを書く） 気づくことがあるでしょう。	脱字である。	3-(2)
35	121	下6-7	（同、⑥資料を使って提案する） また、提案を発表するときは、事実とその理由をはっきりさせ、話す内容の構成（論の展開）を考えるとよいです。	児童にとって理解し難い表現である。 （「その」が何をさすのか、理解し難い。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-164		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 91	脚注	『キャプテンはつらいぜ』の図版にある「AOI TORI BUNKO」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	92	上	『キャプテンはつらいぜ』の図版にある「AOI TORI BUNKO」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
3	95	下	『森は生きている』の図版にある「AOI TORI BUNKO」及び「青い鳥文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	141	1 - 2	今では使われなくなった言葉や独特な音のリズムに気づいたでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 (「音のリズム」とは何か理解し難い。)	3-(3)	
5	164	下11 -12	外来語というのは、和語と漢語以外の、外国から入ってきた言葉です。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)	
6	194	側注	本のみりよくや良さを伝える→280ページ	不正確である。 (ページの表示が不正確である。)	3-(1)	
7	197	中	『たのしいムーミン一家』の図版にある「AOI TORI BUNKO」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	227	資料6 キャプ ション	「賞味期限」と「消費期限」のちがいを知らせつつ、期限が長い商品を選ぶ必要があるかを考えて買うようによびかけるポップ。	児童にとって理解し難い説明である。 (資料6の図版に照らして理解し難い。)	3-(3)	
9	232	6 - 7	日本語のかなは、「ん」をのぞくと、この母音と子音の組み合わせによる音を表します。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (日本語のかなについて誤解する。)	3-(3)	
10	233	1 - 2	▼次の英語の言葉には、音のかたまりがいくつあるでしょうか。手をたたきながら、数えてみましょう。及び図版	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように英語の言葉の「音のかたまり」を理解するのか分からず、活動出来ないという支障を生ずるおそれ)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-164	学校 小学校	教科 国語	種目 国語	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	233	10 - 11	▼次の言葉を、まずローマ字で書きましょう。次に、英語での書き方と発音を確認して、日本語とのちがいを考えてみましょう。	十分な配慮なく外国語科の専門的な知識を扱っている。 (英語での書き方と発音を確認する学習)	2-(2)
12	249		『リボンの騎士』の図版にある「講談社漫画文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
13	下巻 165	下段囲み	・2020年の東京オリンピックは、	不正確である。 (「東京オリンピック」)	3-(1)
14	193	下	『葛飾北斎』『トイレをつくる 未来をつくる』の図版にある「博雅堂出版」「ポプラ社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-1	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 1・2
-----------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 44	中上2	川村	文字の大きさが不統一である。	固有 1-(1)
2	下巻 4	下	図版中の鉛筆	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
3	31	右下	画家	文字の大きさが不統一である。	固有 1-(1)
4	34	右上	手	不正確である。 (枠内の位置)	3-(1)
5	47	7	「紙」の筆順中の9	不正確である。 (位置)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-3	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 1・2
-----------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 12	左下	「ち」に付された「・」	児童が誤解するおそれがある。 (「ら」に付されたものと異なる)	3-(3)
2	17	中下	よ (2箇所)	不正確である。 (枠内の位置)	3-(1)
3	38	上	硬筆文例 (ありがとうございました。)	字間が、他の行と不統一である。	固有 1-(1)
4	下巻 32	中	硬筆文例中の「歌」 (2箇所) ・「楽」	漢字の大きさが、他と不統一である。	固有 1-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-45	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 3・4
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 4	右上	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
2	30	上	図版中の中心線	不正確である。 (位置)	3-(1)
3	40	下	図版2点と上の説明文(文字と行の中心をそろえる。)	相互に矛盾している。	3-(1)
4	下巻 2	左下	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
5	7	左中	月	不正確である。 (行の中心からのずれ)	3-(1)
6	45	中下	図版2点	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (図版中の書体は行書)	2-(13)
7	②	右上	図版中の「一」(3行目)・「第二部」	不正確である。 (位置)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-50	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 3・4
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 2	中中	図版	児童が誤解するおそれがある。 (鉛筆の持ち方)	3-(3)
2	22	3	イ	不正確である。 (枠内の位置)	3-(1)
3	23	右中	硬筆文例 (花の色や～見てください。)	児童が誤解するおそれがある。 (下に示す二通りの書き方を混用)	3-(3)
4	23	右下	硬筆文例 (花の色や花びらの形) と上の説明文 (行の中心にそろえる書き方)	相互に矛盾している。	3-(1)
5	34	下2	硬筆文例 (お店の～教えて)	児童にとって理解し難い。 (行頭の扱い)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-77	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 3・4
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 4	上	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
2	28	左上	説明文(筆圧を強めながら)と右の図版	相互に矛盾している。	3-(1)
3	33	3	中心のそろえ方は、二つの方法があるよ。	不正確である。 (①には該当しない)	3-(1)
4	33	4	説明文(下の線にそろえる)と硬筆文例(鼻が高い)	相互に矛盾している。	3-(1)
5	下巻 4	上	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
6	32	左下	「試」の第一画	不正確である。 (筆順の表示)	3-(1)
7	42		硬筆文例(こんにちは。～牧原知季様)	文字の大きさが不統一である。	固有 1-(1)
8	51	5	「静」の筆順	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-79	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 3・4
------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 40	左下	硬筆文例(②・③)と左上の説明文(文字の大きさと書くじゅんじょの②・③)	相互に矛盾している。	3-(1)
2	下巻 42	中下	心・光	不正確である。 (位置)	3-(1)
3	46	中中	アク 11	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-115	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 2	左下	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
2	4	左上	図版中の鉛筆	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
3	7	右上	「技」に付された中央の破線	不正確である。 (位置)	3-(1)
4	①	左上	図版中の「五年」	不正確である。 (行の中心からのずれ)	3-(1)
5	下巻 3	上	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
6	16	右下	皇	児童にとって理解し難い。 (上に示した説明図と不一致)	3-(3)
7	①		図版(夢の実現)中の上下の余白と左の縮小図版中の上下の余白	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-119	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	下巻 16	左中	緑	誤記である。	3-(2)
2	38	左上	末文・後付けの範囲を示す括弧	不正確である。 (位置)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-120	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 22		教材 この他 25ページにも同様の箇所あり	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (点画の書き方が学習内容を踏まえていない)	2-(1)
2	下巻 12	左中	短歌や俳句をよむ「歌会」	不正確である。 (「歌会」は俳句に対応しない用語)	3-(1)
3	15		教材	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (2内容 [知識及び技能](3) の エ)	2-(1)
4	22	右下	タイトル(三年生で学習したこと)と左の教材(「右上はらい」・「反り」)	相互に矛盾している。	3-(1)
5	23	右下	タイトル(四年生で学習したこと)と左の教材(「によう」・「三つの部分」)	相互に矛盾している。	3-(1)
6	24	右下	タイトル(五年生で学習したこと)と左の教材(「筆順と字形」中の右側)	相互に矛盾している。	3-(1)
7	25	右下	タイトル(六年生で学習したこと)と左の教材(「文字の大きさ」)	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-142	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 16	左下	「も」の筆順	筆順が一般に通用している常識的なものによっていない。	固有 1-(4)
2	下巻 24	左上	説明文（行間は、字間より広くする。）と図版（24ページ下・25ページ）	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-146	学校 小学校	教科 国語	種目 書写	学年 5・6
-------------	--------	-------	-------	--------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 44	中上	「成」の左に付された赤線 この他 下巻43ページ中上にも同様の箇所あり	不正確である。 (位置)	3-(1)
2	下巻 7	右下	図版	児童が誤解するおそれがある。 (筆の持ち方)	3-(3)
3	15	右上	月	字形が偏っており、不適切である。	固有 1-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。